

Interview

みなみ自治会自主防災部長

いわぶち けいすけ
岩淵 敬介さん



新型コロナの現場の最前線に立つ医師

仕事に生かせる経験ができる
「病院の災害派遣医療チームの一員なので、自助・共助の重要性を実感していました。仕事のスキルが皆さんの役に立ち、また、自主防災の経験は実際の災害援助に生かせるのではないかと思います」と話すのは岩淵さん。みなみ自治会が設立された2018年から、自主防災部長をしています。



みなみ自治会ch



自治会の防災訓練では医師のスキルを生かして、AED講習会を開催

自治会活動や地域のボランティア活動に参加してみたい方はコチラ

▶企画政策課
協働・連携推進班

☎ 84-0315

青少年指導員のお問い合わせはコチラ

▶生涯学習課

☎ 84-0325

(受付時間…平日の8:30~17:15)

6ページにGO!



6ページ目にはシニア世代の活躍を掲載中!

町を歩くだけで楽しくなる

自治会長と、家族ぐるみの付き合いをしていた前任者の推薦で昨年、青少年指導員(※)になりました。人と関わることや子どもが好きだったので、二つ返事で承りました。断れない性格もありますけど(笑)でも、誰かに頼られるのは嬉しいです。青少年指導員になってから、町内で声を掛け合える関係が増えました。だから町を歩いているだけで楽しいです!頼みごとをされると、先入観で「面倒」と思ってしまうがち。でも、案外何とかなるものです。少しでも興味があるなら気軽に一步踏み出してみてください!

(※)子どもたちの自ら学び考える力や、豊かな人間性と社会性を育むこと等を目的に活動しています。

きのした ひろたか
木下 裕敬さん
(円中)



青少年指導員の中でも最年少の21歳!

自治会活動だけじゃない、+αの活動も!

青少年指導員
にはこんな活動も!

人とのネットワークが広がる
パソコン作業が得意な橋元さん。周囲の方から推薦を受け、広報部長になって今年で5年目。年3回の広報紙づくりやホームページの更新をしています。「広報を見た方から声をかけられると嬉しいです。やりがいを感じます」と話します。

フルタイムの仕事をしているが、広報部長を続けるコツを聞きました。「自分一人ですべてやらなきゃ」と気負わず、人の手を借りることです。仕事で行事の取材に行けない時は、他の方に頼んでいます。自治会の皆さんが頼みやすい雰囲気づくりをしてくれているからこそですね。家庭と職場に加え、自治会という第3のコミュニティを持てたとも話す橋元さん。人とのネットワークが広がっています。



下島自治会HP



橋元さんが作成した広報紙。写真撮影はスマホを活用

Interview

下島自治会広報部長

はしもと ゆうこ
橋元 優子さん



フルタイムで働く2児のママ